

## 普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)6月21日  
所属名：大津・南部農産普及課  
番号：A21003  
部門分類：610(担い手育成)  
発信者名：川村、山本、井上

### 小学生、今年の田植え見学はリモートで！

5月28日、当課は青年農業者クラブによる小学生46名を対象としたリモート出前講座の開催を支援しました。

きらり

大津地域青年農業者クラブ季楽里（以下、「クラブ」）は、毎年、大津市木戸小学校5年生を対象に食農教育の出前授業を開催してきました。昨年はコロナの影響により、田植え体験と調理実習は中止になり、収穫の様子のみリモートで見学してもらいました。今年の田植え見学は現地からのリモートと学校でのミニ体験を組み合わせで実施しました。

ミニ体験とはクラブ員と当課が工夫し、ほ場で田植え体験ができないかわりに、学校に育苗箱の苗や、バケツに入った代かき後の土を持ち込み小学生に触ってもらうことです。苗については「意外と柔らかい！においするかな？」との感想が多く聞かれ、バケツの土については「砂利が多い！ザラザラしている！ねっとりもしている!!」と歓声があがりました。実際に苗や土を触るとそこから疑問がわき、小学生からは多くの質問が出ました。限られた時間内で全ての質問に答えられなかったため、今後は小学生をグループ化し複数名のクラブ員で対応すれば、短時間で質問に答えられるだろうとの意見が出されました。クラブ員にとって2回目のリモート出前講座なので、機材の扱いや授業の進行についてはスムーズに行えました。

当課では、今後も情報機器を活用して、コロナ禍においてもクラブの食農教育活動やクラブ員の資質向上につながる活動を支援していきます。



ほ場で、田植え機と畔からの2視点で田植えの様子を学校に向けてリモート中継するクラブ員



体育館で、田植え作業や育苗箱、バケツの土について説明するクラブ員